

令和5年度第2回環境審議会で出された意見(概要)

No	項目	審議会意見(概要)	意見書への記載
1	リサイクルプラザの活用	取り組みをアップデートして、市内プレーヤーや協業している事業者の方に、取組紹介や啓発コンテンツを提供してもらい、場所としてリサイクルプラザを活用するということを提案する。	※1 各課対応
2	資源再利用団体奨励補助(団体数)	資源回収団体の減少に対して、ヒアリング等を行い、辞める理由を確認した方が良い。	意見1
3	資源再利用団体奨励補助(回収量)	事業者の店舗やオフィスに回収ボックスを設置する店舗回収でも、資源回収の品目に貢献する場合は補助対象とするような仕組みにできないか。また、資源回収の対象を拡大して、古紙・古布以外にプラスチックなども回収対象にしてはどうか。	
4	ごみの資源化	資源化できるごみが減っているため、資源化率での評価に無理が生じている。1人当たりの焼却ごみの量を指標とするべき。 また、資源化率以外に、リユースや食品ロスなど、地域の中での利活用率として、減らせた量や循環できた量を指標にしたらどうか。 ただし、評価できないからやらないということにならないよう注意したい。	
5	生ごみ処理機普及	設置後の利用状況についてヒアリングや事後フォローが必要。 リマインドを兼ねてアンケート等を送り、継続利用を促し、フィードバックを貰えないか検討していただきたい。 ただし、市の負荷が増えすぎない方法を配慮する。	意見2
6	太陽光補助金制度	太陽光発電設備に対する補助金の制度が変わっているため、中間見直しの際には、指標の見直しが必要。	※2 中間見直し
7	市民の森	市民の方が認知し、使用して初めて意味がある。市民の森へのアクセスや、利活用についての指標の追加を中間見直しで検討するべき。	※2 中間見直し
8	文化財保護啓発事業への参加人数	啓発事業については、リアルだけでなく、オンラインやハイブリット型の講座を増やしていく方法がある。	※1 各課対応
9	全体	教育分野も含め色々な施策を既に実行している。さらに、外部の事業者との連携も進めているので、市内外の連携先を増やし、取組を拡大するのも良い流れ。一方で、取組の効果が最終的にどう表れているのかを測ることが非常に重要である。 アンケート等を実施し、審議会の参考資料として共有していただきたい。(附帯意見)	
10	全体	新型コロナウイルス感染症により、活動量の大きな影響があったため、直近3年間をレビューするのは非常に難しい。また、人口減少による活動量の減少もあるため、それらの説明があると分析しやすい。 5つの基本方針に対して、部分横断的な視点で見直しを行うことが課題。(中間見直しで考慮)	

※1 意見書には記載ませんが、審議会からの意見として関係課所に報告し、各課で対応を検討します。

※2 来年度の中間見直しの際に、対応を検討します。